



121自治体を含む2221名のタバコ対策担当者様、名刺交換、講演・原稿依頼をされた方へ

産業医科大学 大和より (異動などでメルマガ不要になった方は「不要」とお返事下さい)

①本日の「ひるおび」で受動喫煙がとりあげられるとのこと。

過去に取材を受けたテレビ局の担当者から大学の広報部に以下の連絡がありました。

当日のおしらせですみません。

@@@@@以下、引用@@@@@

TBSテレビ ひるおび ご担当のひるま様からの

連絡で、先日と同じ画像(橋本様が取材されたもの)

を使用したいとのことでした。

九州ではRKBで12:00から生放送、使用は13時頃とのことでした。

@@

②都民ファースト・公明 子どもの受動喫煙防止で条例案提出へ (コメントは記事の下に)

NHK NEWS WEB 8月29日

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170829/k10011117891000.html>

東京都議会の都民ファーストの会と公明党は、来月開かれる定例議会に、子どもを受動喫煙から守ることに特化した条例案を共同で提出することになりました。

都民ファーストの会と公明党は、29日記者会見し、都内での受動喫煙対策を進めるため合同の調査会を設置したうえで、来月20日から始まる定例議会に子どもを受動喫煙から守ることに特化した条例案を提出することを明らかにしました。

具体的には、子どもは自分の意思でたばこの煙の被害を避けることが難しいとして、子どもが乗っている自動車の車内では喫煙を制限するほか、子どもがいる家庭内の部屋や、学校周辺の通学路、それに公園などでの喫煙を避けるよう求める内容となっています。

今回の条例案は、罰則のない努力義務にとどまりますが、30日以降、党のホームページを通じて都民から意見を募るほか、医師会やたばこの製造・販売業者などからヒアリングを行うことにしています。都民ファーストの会都議団の山内見政務調査会長は「子どもをたばこの煙から守る必要性を東京から発信し、受動喫煙の防止を進めたい」と述べました。

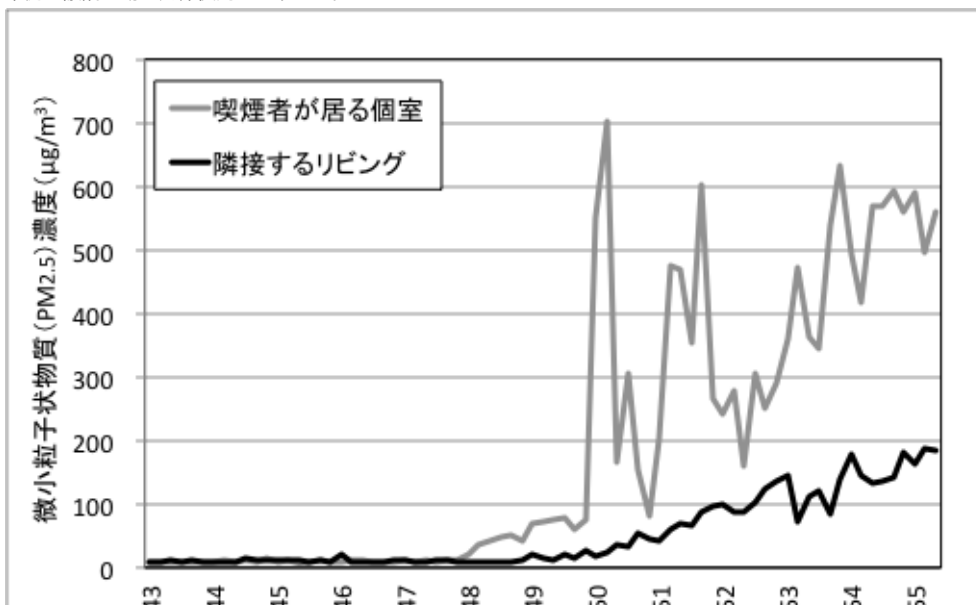
受動喫煙対策をめぐるのは、今後、先月の東京都議会議員選挙で各党が掲げた、飲食店など建物の中を原則として禁煙にする罰則つきの条例の制定に向けても議論が活発になる見通しです。

【大和コメント】

「家庭内に規制が入る」ことに対して反対する意見がありますが、子どもが逃げることができない自宅内や自家用車内で保護者が喫煙することは「虐待」である、という観点から議論していきましょう。

ある家庭で喫煙者が個室で喫煙し、ドアの隙間から隣のリビングに拡散していく様子を測定した結果を示します。保護者が喫煙すれば、子どもが高濃度の受動喫煙に曝露されることは明らかです。

条例の議論の場では是非使用して下さい。



**車内で喫煙した場合**  
 ①自家用車：子どもの受動喫煙 (PM2.5)  
 ②営業職：三次喫煙による印象不良

＜測定位置＞  
 1. 助手席  
 2. 後部座席 のヘッドレスト




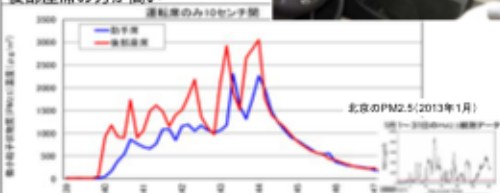
大和 浩 タバコ煙という微小粒子状物質 (PM2.5) への曝露の実態  
 日本小児保健研究雑誌 第4巻 第2号 91-103, 2014

**A. すべての窓を閉鎖 (雨の日を想定)**  
 北京のひどい日の4倍超、エアコンで後に送られるため後部座席の方が高い濃度に。




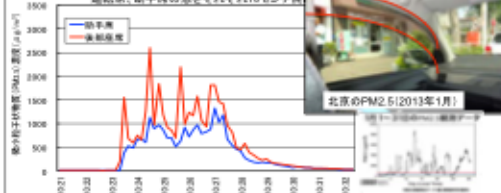

北京のPM2.5 (2013年1月)  
図1-1 北京のPM2.5濃度(μg/m³)

**B. 運転席のみ 10cm 開放**  
 運転席を開けただけでは、北京の3倍超、エアコンで後に送られるため後部座席の方が高い


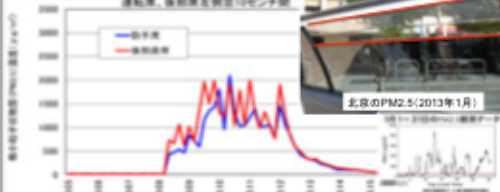
北京のPM2.5 (2013年1月)  
図1-1 北京のPM2.5濃度(μg/m³)

**C. 運転席、助手席の窓をそれぞれ10cm 開放**  
 前部両側開けても、風の流れが悪いため北京の3倍超、エアコンで後部座席の方が高い

北京のPM2.5 (2013年1月)  
図1-1 北京のPM2.5濃度(μg/m³)

**D. 運転席、後部席左側の窓をそれぞれ10cm 開放**  
 風の抜けを考慮して、窓を開けても北京の2倍超

北京のPM2.5 (2013年1月)  
図1-1 北京のPM2.5濃度(μg/m³)

**E. すべての窓を全開**  
 窓全開でも北京のひどい日と同レベル




北京のPM2.5 (2013年1月)  
図1-1 北京のPM2.5濃度(μg/m³)

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1  
 産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室 大和 浩

ダイヤルイン：093-691-7473、学内PHS 4729、  
 直通FAX: 093-602-6395、学内用内線FAX: 8062、

ホームページ： <http://www.tobacco-control.jp/>